



第 19 回 例会 報告 (12月15日)

【 出 席 報 告 】

・会員数	53名	・出席数	37名	・欠席数	16名
・当日出席率	72.34%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員> 平田、菅、吉良、小堀、河野、久米、桑森、松木(久)、村上(裕)、大澤、大河内、竹田、田中

〔免除会員〕 青野(明)、檜垣(巧)、越智

<12/1欠席補填> (11/21 今治北) 菅、大河内、辰巳 (12/13 今治南) 平田、小堀、桑森、松木(久)、松本、中村、重松、竹田

◇**会長報告**・米山記念奨学会より、松木徹夫会員へ米山功労者感謝状が届きましたので贈呈しました。

◇**幹事報告**・12月22日(木)は忘年夜間例会です。18:30より今治プラザホテル2階レストランペペにて開催。
・今治1.17実行委員会主催『防災フェスティバル』協力のお願いが届きました。ロウソク代500円チケットのご協力をお願いします。

◇**親睦活動委員会・お誕生日スピーチ**・重松宗孝会員:(57歳) 先日人生3回目の入院をした。1回目は生まれた時、2回目は小学校の時怪我をして入院した。今後はそうならないよう規則正しい生活をおくっていききたい。▼檜垣俊二会員:(71歳) 70歳を超えこの場に立つには抵抗が出てきた。しかし人生でまだ入院の経験はない。今後も現役の間は食事制限をしていききたい。▼西本信保会員:(61歳) 歳をとるのが早く思えるようになってきた。怪我が多くなってきたので来年は怪我のないように慎重にし、会長という大役がまわってきたので頑張りたい。▼岩藤将史会員:(51歳) 1月7日が誕生日だが子供のころは冬休みで誰も祝ってくれなかった。社会人になって昭和天皇の崩御もあつたりしたが、最近では祝ってもらうことが多くなり帳尻があつてきた。▼檜垣直孝会員:(58歳) 今年は職場で5人の結婚式があつた。一緒に参加している部下からスピーチがワンパターンと指摘された。来年も2月と3月に結婚式がある。その時は内容を変えてスピーチしたい。

会員増強委員会アワー

◆**八木正史委員長**: 会員増強とは、新会員を増やすことと組織強化すること。企業が製品を常に改善し顧客の満足度を高めようとするのと同様に、クラブの現状評価を定期的に行い会員であることの価値と満足感を高めることは、元気な会員基盤を造る第一歩である。「入会したい」「入会してよかった」「会員であり続けたい」と思われるクラブになるには、会員のニーズをしっかりと把握し、その期待に応える事こそが最も重要と考え会員アンケートを実施した。▼アンケートの内容は8種類、その中に細かく47の項目を設け40名の会員から回答を頂いた。結果については「本クラブの会員であることにどのくらい満足していますか」という代表的な質問に対し回答者40名のうち30名が「満足」、10名が「ある程度満足」と答えた様に概ね全ての項目で満足度が高いということが判明した。▼以上のことからアンケートの結果は当クラブに自信を持って入会候補者をお誘い出来、又入会後も入会してよかったという思いを持ってもらえるという自信にもなった。▼入会候補者についてはアンケート用紙と同時に配布した入会候補者ワークシートから9名の候補者を挙げていただいたので積極的にアプローチしていきたい。現在の当クラブの職業分類未充填業種である①貨物自動車運送業②港湾運送業③眼科④皮膚科⑤海産物加工も充填していきたいと考えている。▼「ロータリーは何なのかではなくてロータリーは誰なのか」ということであり「私たちこそがロータリー、ロータリーの未来はわたしたちが生きている限り続く、ロータリーが活動し続けることは疑いない」ということを改めて認識した。「クラブに新会員が入会したことで、新会員を素晴らしい積極的な会員と勘違いしてしまいがちです。でも新会員の意欲を掻き立て新会員が参加できるクラブ活動を保ち、やりがいのあるプログラムを持ち続けないと入会した会員もそのうちプログラムに参加しなくなるでしょう。」という話が心に残った。



次回例会 (12月22日)

【 忘 年 夜 間 例 会 】

日 時 : 12月22日(木) 18:30~
場 所 : 今治プラザホテル2階 レストランペペ